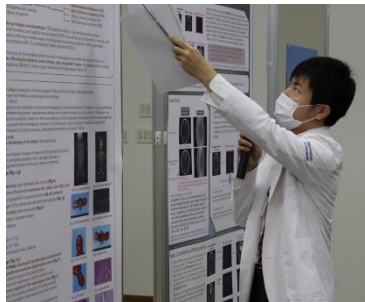




## アジア国際小児医療学会（AMCCH2025）を開催しました

アジア国際小児医療学会（Asian Medical Conference on Child Health: AMCCH）は、当院とタイの Queen Sirikit National Institute of Child Health との国際協力提携のもと、2015年から開催されてきました。2020年以降は、新型コロナウイルス感染症のパンデミックのために開催が見送られていましたが、2025年1月18日（土）に AMCCH 2025 が5年ぶりに当院のこもれびホールにて開催されました。

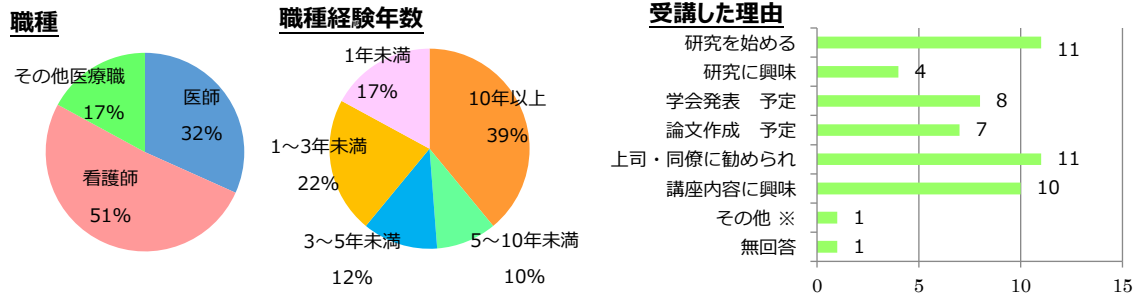
今回は、タイから5名の医療者をお迎えし、香川大学医学部附属病院からもご参加いただき、口演発表（4演題）とポスター発表（17演題）が行われました。院内の各部門からの発表者、聴講者を含めて全体で約150名の参加者があり、それぞれに情報共有や意見交換を行いました。



閉会式後の写真撮影

## 2024 年度臨床研究部講座を終えて

2024 年度臨床研究部講座は全 10 回開催、参加者 42 名でした。各講座終了時のアンケート 41 名分の集計結果を以下に示します。



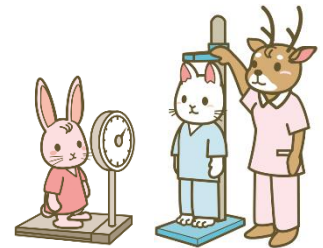
講座の難易度については、約 8 割がちょうどよい、残り 2 割はやや難しい～難しかったです。本講座を受けた方の約半数が e-APRIN（臨床研究についての e-ラーニング）を受講されていました。また、少数ですが、受講した講座以外にも参加したいというご意見がありましたので、今年度と同様の講座を次年度も行う予定にしております。

講座日程、内容、場所などの詳細は決定次第、各部門への案内配布、サイボウズ掲示でお知らせいたします。

1 講座 30 分の講座で、初めての方にもわかりやすく説明しますので、聞いてみたいと思われた方は、お気軽にご参加ください。

## 現在進行中の治験について

責任医師：	吉田 守美子 先生（内分泌代謝内科）
分担医師	岡田 隆文 先生（小児科）、辻 誠士郎 先生（内分泌代謝内科）
対象疾患：	肥満又は体重関連の併存疾患を伴う過体重
対象年齢：	12 歳以上 18 歳未満
試験名・治験薬／	J4M-MC-PWMP 試験および J4M-MC-PW01 試験
投与方法：	Orforglipron／経口投与
開発相/デザイン：	第Ⅲ相／無作為化、二重盲検、プラセボ対照試験



肥満は、小児期から子ども達の心身に様々な悪影響を及ぼし、成人した後には虚血性心疾患や肥満関連がんなどの非感染性疾患の原因となるため小児期からの対策が必要です。肥満だった子どもが成人までに正常体重に戻った場合、心血管疾患のリスク要因は、肥満でなかった人と同様であることが示されています。これにより、子どもの頃に肥満治療を行うことで、成人以降の心血管リスクが改善される可能性が示唆されています。

現在、当院では肥満又は過体重の治療薬に関する治験を実施しております。この治験では BMI（Body Mass Index）と呼ばれる肥満度を表す体格指数の変化率や体重の変化量、腹囲の変化量などから治験薬の効果を確認することを主な目的とし、併せて治験薬の安全性や薬物動態を確認する臨床試験です。

本試験で使用いたします治験薬は、Orforglipron（オルフォルグリブロン）と呼ばれ、GLP-1 受容体作動薬に分類されるお薬です。Orforglipron は、血糖コントロール改善に加え、食欲減退の作用による肥満症・過体重の体重管理を目的とした経口補助療法として開発されております。すでに 2 型糖尿病の治療薬として発売されている GLP-1 製剤の多くが注射剤であることに対し、こちらの治験薬は経口剤であることが特徴の一つで、服用時の水分摂取や服用タイミングなどについての制約が少ないため、服薬遵守率の向上につながることを期待されています。